

おおぎみ

大宜味



広報 No.212

KOHO OGIMI 2012年11月号

「健康長寿の
いきいき輝く
文化の村」



喜如嘉ターブルク野鳥観察会

地域の人に身近な野鳥へ興味をもってもらおうと「喜如嘉ターブルクの野鳥観察会」(主催:やんぼる自然体験活動協議会)が10月21日、喜如嘉小学校~周辺水田で開かれました。県内在住の方を対象に開かれたもので、喜如嘉小学校児童と市田豊子さんが野鳥観察の楽しさや方法・ポイントなどをレクチャーしました。

国や県に災害復旧の協力を要請

大宜味村議会(金城勇議長は10月4日、県議会や県庁、内閣府沖縄総合事務局を訪問し、去る台風による土砂災害及び水害対策を求める要請行動を行いました。村議会議員や島袋義久村長、山城清臣副村長が、県の関係部署などに村内の被害状況を報告すると共に、土砂災害及び水害対策の原因究明と災害の早期復旧に向けて一層の協力を求めました。村議会では、9月末に地域の被害状況の調査を行っており、大雨の襲来などで被害が増大する恐れがあったため、早急な対応が必要なことから今回の要請行動に結びつきました。

県議会の喜納昌春議長は要請を受け、「台風被害は住民生活に直に関わる問題。県議会としても早急に対応していきたい」とし、沖縄総合事務局の吉田延雄次長は「地域の人の声を聞き、村と意見交換しながら復旧に力を入れていきたい」と話しました。

島袋義久村長は、これまでの災害復旧事業に対して感謝を表すとともに、「今回の台風被害は、村で対応できる範囲

を超えており、今後も継続して力を貸して頂きたい」と協力をお願いしました。



喜納昌春県議会議長に要請文を読み上げる金城勇村議会議長



沖縄総合事務局で村内の被害状況を説明する島袋義久村長

オスプレイ配備「NO」 大宜味村から平和を発信

オスプレイ強行配備に反対する大宜味村民大会(主催:同実行委員会)が10月16日、村農村環境改善センターで開かれ、300人余りが参加しました。大会では、オスプレイを直ちに撤去し、米軍普天間飛行場を即時閉鎖、早期返還するなど基地負担の軽減を求める決議を採択しました。

実行委員会共同代表の島袋義久村長は「今こそ不退転の決意を確認し、オスプレイを引き揚げさせるまで反対する声を上げていく必要がある。みんなが一丸となって軍事基地のない沖縄県を大宜味村から発信していこう」と呼びかけました。

大宜味村憲法9条を守る会の平良啓子さんは、オスプレイ強行配備に対する怒りと墜落の恐怖を語り、「手を取り合ってオスプレイ配備に反対し、みんなでオスプレイを押し倒していきましょう」と訴えました。

大会の最後は、平良森雄社会福祉協会会長のかけ声でガンバロー三唱をし、参加者全員でオスプレイ強行配備に対する怒りの拳を突き上げました。



プラカードを手に怒りの拳を突き上げる参加者ら

村の未来を担う子どもたちの教育についてみんなで考えよう！

～ 村立学校適正化総合基本計画住民説明会～



大宜味村教育委員会は、8月～9月にかけて小学校の統合及び中学校の移転を盛り込んだ「大宜味村立学校適正化総合基本計画（素案）」を説明するため、各学区で住民説明会を開きました。ここでは、説明会やアンケートで出された地域住民の意見の一部をお知らせします。

住民から意見（一部抜粋）

【喜如嘉校区】

跡地を福祉関係の施設として活用するなど、住民が歓迎できる跡地利用を検討してもらいたい。

結の浜の学校建設を待たずとも、1日でも早い統合を望むなら既存の学校で暫定的に統合する方法もあるのではないかと。また、建設中であっても同時並行で既存学校の有効活用をしっかりと考えてもらいたい。

近い学校を統合していくことも検討して欲しい。埋め立ての場所以外は考えられなかったのか。津波の心配もあると思うが、なぜ結の浜なのか。もう少し踏み込んで考えて欲しい。統合のメリットを多くの村民に知ってもらい、お互いの子ども達のことを考えてどうすれば良くなるかを強く打ち出して欲しい。統合はした方がいいと思うが、地域との関係が一番気になる。今までの文化等をどうやって伝えていくかが問題だと思つた。

【大宜味校区】

中学校が先に開校するということが、同じエリアで建てるのだから開校時期は一緒ではないのではないかと。

今のような複式の状態では子ども達も可愛そう。今は競争心がないので学力が伸びていな

い。

複式の良さもあるが、複式が当たり前ではない。あるべき姿ではないという事を押さえるべき。小学校と地域の人の関わりがなくなる、寂しいのは十分理解できるが、子どもたちのことを最優先に考えるべき。

基本的な適正化学級というのは、人間関係を固定するといけない。さらに、幼・保育所が一体化すると、保育園から中学3年まで人間関係が固定してしまえば良くないのではないかと。

子を持つ親としては統合に賛成。学力というよりは、友達が多いことの方が重要。

【塩屋校区】

スポーツや勉強は競い合つて学んだ方がいい。地域の行事は学校で教えるものではなく、地域で教えることが必要。

統合すれば、スクールバスの問題も出てくると思うが、子どもたちに負担がないようにしてほしい。

統合する時には、跡地利用をきちんと計画して地域の特性を活かせるように検討して欲しい。

結の浜は海に近いので、災害時の対応を徹底的にやつてほしい。安全対策は立橋も含めて考えて欲しい。

生徒数が少ない現在の状況では、子どもたちの競争心も薄まり、あまり努力しない子もいる。子どもたちは集団の中で伸びていくので、統合し学校の生徒数が増えれば勉強・スポーツともに競争心をもって取り組めるのではないかと。

【津波校区】

津波が懸念される結の浜ではなく、村有地の

もつと安全な場所があるのでは。

喜如嘉の野鳥観察のように、立地条件に恵まれたからこそ伸びた活動もあると思う。統合したことによってその成果が落ちてしまわないか不安がある。

統合の期日を提示したのは進歩だと思う。中学校にしても校舎のハード面、体育館も雨漏りする、校舎もボロボロ、これで地震がきたら不安になる。早めに建て替えてほしい。

子どもたちを中心に考えると賛成。津波小としては、反対意見もありはしたが、早く統合して欲しいと3年前にPTA会長名で要望も出している。

統合となった場合、知らない先生たちだけでは子どもたちは不安だと思うので、各学校から教員を配置できるようにしてほしい。

住民説明会の参加者やアンケート回答からの意見の大方は、「基本計画」に賛成というものでした。各学校区ともに、小学校統合問題について「跡地利用」「津波対策」「スクールバスでの送迎」についての意見や質問が多く、また統合そのものには賛成でも「2校区ずつの統合」「既存校舎での統合」も意見としてありました。一方で、小学校が1つに統合されると、人間関係が長く固定してしまいマイナスイメージがあるのではないかと、という意見もありました。

教育委員会では、これらの意見を踏まえ「村立学校適正化総合基本計画（案）」をまとめ、村長部局及び村議会へ報告するとともに、来年の1月から2月には再度、住民の皆様の意見を伺うため各校区で住民説明会を開催します。子どもたちにとって、どんな教育環境が望ましいのか、今後も一緒に考えていきたいと思います。

平成23年度大宜味村一般会計・特別会計決算審査意見書(抜粋)

審査意見 大宜味村監査委員 前田國男、大城佐一

審査の結果、一般会計、各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、関係帳簿及び証拠書類と照合し、決算審査基準並びに審査主眼に基づいて審査した結果、決算計数に誤りはなく、予算の執行はその目的に添って執行されており、それぞれの事務事業は厳しい財政状況の中にもかかわらず積極的な財産運営がなされ、予算執行の面でも効率的な執行の努力がなされて、おおむね所期の成果をおさめているものと認めた。

一般会計においては、厳しい財政事情の中で財政収支の均衡保持に努めた結果である。しかしながら、財政諸指数からみるとなんとか健全財政を維持しているところであり、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率を見ると本村の財政構造に硬直化が進みつつあることを真摯に受けとめ自覚すべきである。今後とも健全財政の維持に積極的な努力を重ね村勢の振興発展に努力されたい。村民の所得の向上あるいは福祉の向上のための、農林水産業の基盤整備をはじめ道路の整備や「人材を以て資源となす」という村是の基に創設された人材育成基金を活用した事業やその他の事業が計画・執行されたことは当局の努力及び議会と村民の理解・協力によるものと評価する。平成23年度の執行率は60.1%となっているが、企業支援施設整備事業の翌年度繰越によるもので、この事業の執行にあたっては万全を期されたい。また、村税においては多額の不納欠損額と収入未済額、負担金、使用料の収入未済額、財産収入の多額の収入未済額、そして学校給食費の収入未済額があることは遺憾である。村税をはじめとする自主財源は、歳入の主たる源泉であり、滞納額については「債権」として認識し、積極的に滞納整理を進めることは善良な納税者の負託に応えるべき執行当局の責務である。尚、当年度にあたっては、個別訪問や預金口座差押え等を行い、徴収に積極的に取り組みをして、成果をあげていることは評価する。また、村税等収納率向上対策本部を積極的に開催し、収納率向上に全庁挙げて取り組みされたい。

国民健康保険税において多額の不納欠損額と収入未済額があることは、誠に遺憾である。滞納者に対する実態調査に基づき、文書及び電話での催告や個別訪問等取り組むことは勿論のこと、未申告者への啓発を徹底し、悪質な滞納者に対しては毅然たる態度で対応するなど、未収金の縮減に向けた努力をされるよう強く望む。医療費増額の抑止策として特定検診が始まり、平成24年度の受診率65%が達成できない場合は国保税へのペナルティーが課せられるなどの可能性があるため、村民の健康保持対策をはじめ、健康づくりの施策を積極的に展開し、また、ジェネリック医薬品の推奨に今後とも取り組みをされたい。

簡易水道事業特別会計は、村民の日常生活に直結し、漏水管修繕等鋭意実施され村民の生活向上に努力されている。今後とも清浄で豊富低廉な生活用水の供給に努力して、万全を期されたい。

公共下水道事業特別会計は、地域住民の生活環境の改善を図るとともに、河川、海域等の公共用水域の水質を保全するため設置されたものである。将来的な健全財政の基盤づくりも見据えながら一層努力されたい。

後期高齢者医療特別会計は、普通徴収保険料において、現年度分の収入未済額はなく、滞納繰越分の未済額1件のみであり、健全化にむけ努力されたい。

予算の執行について

一般会計

ア、歳入の状況

歳入決算額は、当初予算額25億1,364万4千円に補正予算額17億4,261万7千円と繰越事業費6,331万1千円を加えた予算現額は43億1,957万2千円で、調定額29億4,103万8,640円に対して収入済額は27億5,824万5,482円でその収納率は93.8%、対前年度比で1%減少している。不納欠損額は182万504円(下記表参照)で、前年度に対して32万7,960円(15.3%)の減となっている。収入未済額の1億8,097万2,654円は対前年度比で272万2,207円(1.5%)の減となっている。現在のところ、多額の収入未済額があることを厳しく認識し、将来へ向けて健全財政を維持できる体制づくりに万全を期されたい。

また、不納欠損処分を行う場合は、多数を占める善良なる納税者との均衡を考慮し、時効中断または時効停止等の措置をとるなど最大限の努力を行い、納税者の税負担に対する公平と信頼感を損なうことのないよう全力を挙げて取り組むべきである。

歳入決算額の収納率の状況は第25表のとおりである。

イ、歳出の状況

歳出決算額は、当初予算額25億1,364万4千円に補正予算額17億4,261万7千円と繰越事業費6,331万1千円を加えた予算現額は43億1,957万2千円となり、支出済額は25億9,663万6,446円で、その執行率は60.1%で前年度に比べ33.9%低下している。翌年度繰越額は16億2,093万8千円(防災行政無線事業、企業支援施設整備事業)となっている。

不用額は1億199万7,554円で、前年度に比べ3,675万4,522円減少している。不用額の中には未執行によるものも含まれており、執行残や未執行のものについては現状を十分掌握し、予算補正で対処されたい。

歳出決算における執行率の状況は、第28表のとおりである。

平成23年度不納欠損内訳表

	住民税		法人税		固定資産税		軽自動車税		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H17年～H18年	2	42,804			56	1,601,200			58	1,644,004
H18年～H22年							26	149,000	26	149,000
H23年					2	27,500			2	27,500
合計	2	42,804	0	0	58	1,628,700	26	149,000	86	1,820,504

第1表 会計別歳入歳出決算額

(単位:円)

会計名	予算現額	決算額			翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
		収入済額	支出済額	差引残額		
一般	4,319,572,000	2,758,245,482	2,596,636,446	161,609,036	34,348,000	127,261,036
国保	610,982,000	610,870,726	557,673,957	53,196,769	0	53,196,769
簡水	291,487,000	285,301,899	280,485,606	4,816,293	1,000	4,815,293
下水	8,651,000	8,734,081	6,409,844	2,324,237	0	2,324,237
後期	36,983,000	36,762,356	35,778,589	983,767	0	983,767
合計	5,267,675,000	3,699,914,544	3,476,984,442	222,930,102	34,349,000	188,581,102

第25表 歳入決算額の収納率の状況

(単位:千円・%)

区分			平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			決算額	収納率	決算額	収納率	決算額	収納率
1款	村	税	176,575	84.7	185,534	89.0	189,825	87.5
2款	地方	譲与税	26,855	100	27,623	100	28,536	100
3款	利子	割交付金	498	100	482	100	469	100
4款	配当	割交付金	119	100	95	100	66	100
5款	株式等	譲渡所得割交付金	31	100	37	100	60	100
6款	地方	消費税交付金	23,118	100	23,905	100	23,429	100
7款	自動車	取得税交付金	3,823	100	4,955	100	6,382	100
8款	地方	特例交付金	6,180	100	5,523	100	4,436	100
9款	地方	交付税	1,459,076	100	1,504,801	100	1,399,051	100
10款	交通安全	対策交付金	978	100	974	100	1,066	100
11款	分担金	及び負担金	13,778	97.5	13,767	98.2	17,953	98.8
12款	使用料	及び手数料	42,411	80.5	37,726	78.3	33,175	74.5
13款	国庫	支出金	193,992	100	691,380	98.5	873,469	63.7
14款	県	支出金	151,937	100	120,014	99.7	129,534	95.8
15款	財産	収入	42,427	47.3	11,618	19.7	11,520	19.6
16款	寄附	金	568	100	820	100	2,500	100
17款	繰入	金	155,272	100	97,674	100	71,790	100
18款	繰越	金	171,293	100	81,684	100	150,279	100
19款	諸	収入	111,858	54.6	181,226	65.9	125,235	47.8
20款	村	債	177,453	100	368,349	100	343,407	100
歳入合計			2,758,245	93.8	3,358,189	94.8	3,412,182	82.5

第28表 歳出決算額の執行率の状況

(単位:千円・%)

区分			平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			決算額	執行率	決算額	執行率	決算額	執行率
1款	議	会費	72,268	99.7	53,292	97.2	56,286	98.6
2款	総	務費	475,624	91.1	415,212	96.1	740,425	93.1
3款	民	生費	530,702	99.3	526,865	99.3	561,670	98.4
4款	衛	生費	342,678	96.8	465,566	91.7	323,952	83.4
5款	労	働費	0	0	0	0	0	0
6款	農	林水産業費	182,451	91.7	148,564	94.5	218,174	96.9
7款	商	工費	27,751	1.8	35,154	95.5	33,117	55.8
8款	土	木費	128,370	99.1	740,514	96.6	579,734	45.9
9款	消	防費	145,299	96.8	120,733	100.0	117,660	100.0
10款	教	育費	246,353	98.5	257,568	97.4	300,622	96.6
11款	災	害復旧費	49,266	69.7	13,891	95.1	1,064	83.6
12款	公	債費	258,305	99.6	275,476	99.7	308,249	99.7
13款	諸	支出金	137,563	97.2	134,060	100	89,539	98.0
14款	予	備費	0	0	0	0	0	0
歳出合計			2,596,636	60.1	3,186,895	94.0	3,330,492	78.8

シークワサー 「マイ箸」で ふれあい給食



大宜味村小学校で10月16日、全学年児童と保護者参加の合同給食会「ふれあい給食」が開かれました。ふれあい給食では、以前に児童たちがシークワサーの木から作った「マイ箸」が使われ、「鶏飯」「鯖の味噌焼き」「もやし胡麻あえ」など旬の食材の献立を全学年が、マイ箸を使い季節の香りと味を楽しみました。

マイ箸は、地域資源の活用を通じ子どもたちに実社会とのつながりを実感してもらうことをねらいとした県の地域教育資源活用事業の一環として製作されたもの。

島袋きよみ校長は「地域の素材で作ったマイ箸で、食材の香りと食事の楽しさを知って欲しい。箸を作った時の思い出とともに良く味わって食べて欲しい」と話しました。



マイ箸を手に集合写真

道の駅おおぎみに AED贈呈

どの活動に取り組んでおり、その一環としてAEDを県内外の道の駅に贈る活動をしているといいます。

贈呈式には、島袋義久村長や各字区長、道の駅おおぎみの出店者らが参加し、緊急時の対応方法を学んでもらおうと、国頭地区行政事務組合消防本部職員が講師となり、心臓マッサージやAEDの操作方法などの講習会も開かれました。



AEDを受け取る島袋義久村長



道の駅おおぎみの情報センターに設置されたAED

(社)日本道路建設業協会沖縄支部は10月1日、地域住民や道路利用者役に役立ててもらおうとAED(自動体外式除細動器)を道の駅おおぎみに贈りました。

同協会は、地域の文化・社会福祉の向上な

平成24年度 宝くじ助成事業

根路銘区自主防災会では、平成24年度宝くじ助成事業(地域防災組織育成)の助成を受け、担架や救助収納箱、テントなど防災資機材を購入しました。助成で購入した備品で、より充実した区の防災活動に役立てていきます。



助成で購入した防災資機材の一部



発電機



防災資機材を活用して避難訓練



やんばるの特産品大集合

「ホップ・ステップ・ジャンプ!やんばるの地域力大集合」をメインテーマに第28回やんばるの産業まつりが10月13、14日の両日、名護市の21世紀の森体育館を主会場に開催されました。

会場では、やんばるの農産物や加工品などの特産品、各企業や大学等の活動を紹介するブースが設けられ、多くの人で賑わいました。

北部市町村や国、県の関係者などが出席したオープニングセレモニーで北部振興会会長の島袋義久村長は

「好評だったシークワサーの掴み取り」

「やんばるの特性を活かした地域づくりや特産品の開発が積極的に行われており、会場を回りながらその意気込みや活力などを感じ取って欲しい」と呼びかけました。

体育館内の展示ブースでは、大宜味村から一心工房や涌井陶芸、村農産漁村生活研究会が出店したほか、シークワサー産地振興協議会のブースでは、特産品の展示即売だけでなくシークワサーとカーブチのつかみ取りが好評で多くの人で賑わっていました。

旧村役場庁舎米寿(トーハキ)祝について

88年間、村勢を見守ってきた旧庁舎を労い感謝の意を込め、多くの村民で祝いましょう!!
どなたでも参加できます。

ちなみに、お祝儀を準備される方は88円をお願いします。

日時と場所 11月17日(土) 基調講演・シンポジウム:大宜味小学校体育館
式典・祝賀会:旧庁舎前広場

日 程	10:00~11:00 ▶▶▶ 基調講演 演題「風土建築家 清村勉について」(講師:木下義宣氏)
	11:00~13:00 ▶▶▶ シンポジウム テーマ「長寿・現役の旧役場庁舎からのメッセージ」(パネラー:原昭夫 他5名)
	14:00~14:30 ▶▶▶ 式典
	14:40~16:00 ▶▶▶ 祝賀会 みんなで盛大にお祝いしよう!!

関連事業として>>折り紙建築教室 11月3日(土) 第2会議室 13:00~16:00

展示会:11月1日(木)~11月30日(金) 旧庁舎内 9:00~17:00 (お祝い当日は第2会議室にて)

詳しいお問い合わせ | 旧大宜味村役場庁舎米寿祝実行委員会 ☎0980-44-3009(米須)・0980-44-3006(田仲)

第17回しまんちゅ芸能の開催について

日時 ●●● 平成24年12月8日(土) 午後2時~
場所 ●●● 大宜味村農村環境改善センター

出場者募集について

- 募集期間
平成24年11月22日(木) 午後5時まで
- 応募資格
村内在住者、村出身者、村内に職場を有する者及び村内で芸能活動を行っている者。
複数で出場希望する団体については、半数以上が村内在住者である事。
- 応募方法
出場申込書に所定事項を記入し、大宜味村教育委員会へ提出する。

村内外から多数のみなさんのお来場をお待ちしております♪

お問い合わせ | 大宜味村教育委員会
☎0980-44-3006

第39回 おおぎみ展の開催について

日 時

平成24年11月9日(金)~11日(日)
午前10:00~18:00
(9日は13:00~、11日は~17:00まで)

会 場

大宜味村立塩屋小学校 体育館

※当日会場では、芸術講座も予定しております。
講座内容については、近日公開いたします。どうぞお楽しみに♪

村内外から多数のみなさんのお来場をお待ちしております!!

お問い合わせ

大宜味村教育委員会
☎0980-44-3006

お知らせ 暮らしに役立つ
暮ら情報コーナー

いぎみ

インフォメーション

「県下一斉」法務局休日相談所の開催のご案内

那覇地方法務局では、行政サービスの向上及び筆界特定制度の利用促進を図ることを目的とし、県下一斉に法務局が掌握する事務について、沖縄県土地家屋調査士会北部支部の協力のもと、休日における無料相談所を左記のとおり開設いたします。

日頃からの疑問、悩み事、相談等があればお気軽にお越しください。

日時 平成24年11月18日(日)
午前10時～午後4時

場所 名護地方合同庁舎一階会議室
(那覇地方法務局名護支局のある建物)

相談内容 土地境界問題、登記相談、相続(遺言)相談、人権相談、戸籍・国籍相談、供託(地代・家賃)相談など

お問い合わせ先 那覇地方法務局名護支局
(☎0980-52-2729)

沖縄県で働くすべての方へ。

意識したことありますか？

最低賃金

沖縄県のこれまでの最低賃金 645円

653円 時間額

[発効日]平成24年10月25日 ※特定の産業には特定(産業別)最低賃金が定められています。



必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も。

ウェブで最低賃金がチェックできます。

那覇労働局ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/>

最低賃金制度

検索

最低賃金に関する情報サイト

<http://www.safteichingin.info/>



最低賃金に関するお問い合わせは沖縄労働局または最寄りの労働基準監督署へ

名護税務署からのお知らせ

税を考える週間 11月11日(日)～11月17日(土)

テーマ 「税の役割と税務署の仕事」

国税庁のICT化・国際化への対応及びe-Taxの利用促進

★★税に関する情報は国税庁ホームページへ★★

国税局

検索

大宜味村 固定資産評価審査委員が代わりました



前田 文孝さん
「よろしくお願いします」



山城 清安さん
「3年間お疲れ様でした」

平成21年10月1日から平成24年9月30日までの3年間、大宜味村固定資産評価審査委員として活躍された山城清安さん(謝名城区)の退任に伴い、平成24年10月1日に村長より新たに大宜味村固定資産評価審査委員として前田文孝さん(宮城区)が委嘱を受けました。任期は平成27年9月30日までの3年間となります。よろしくお願いします。

※固定資産評価審査委員会は、市長村長とは独立した中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行う。

村の人口

9月末現在

男 1,736人 (-4)
 女 1,641人 (-8)
 計 3,377人 (-12)

世帯数 1,674世帯数 (-4)
 出産 2人 転入 1人
 死亡 6人 転出 9人

※注()内数は対前月比

11月は児童虐待防止 推進月間です

平成24年度虐待防止推進月間標語
 「気づくのは、あなたと地域の心の目」
 *虐待を受けたと思われる子どもがいたら。

*ご自身が出産や子育てに悩んだり
 *子育てに悩む親がいたら。

児童相談所(全国共通ダイヤル)や
 市町村窓口へ連絡・相談ください。

児童相談所全国共通ダイヤル

☎0570-064-0000

大宜味村役場住民福祉課

☎0980-44-3003



満1歳お誕生日おめでとう!!

(タンカー祝い) ☆世界にたったひとつだけのスマイル☆
 明るく・元気で・素直に すくすく育てね。



川上 鐘くん (塩屋) 當銘 美央ちゃん (宮城) 平良 玲斗くん (宮城) 古我 知星ちゃん (塩屋)

輝く未来の大宜味っ子!

ご寄付

◆村社会福祉協議会へ

玉城 深福 様 5万円

◎田嘉里区

カジマヤーを記念して

神里 敏夫 様 5万円

◎田嘉里区

母ハナさんの香典返しとして

11月11日 November December 大宜味村カレンダー



1 木	◆区長会
2 金	
3 土	文化の日 ◆わんぱく体験団
4 日	◆塩屋小わくわく塩屋っ子タイム
5 月	振替休日(塩屋小)◆県広域地域・津波避難訓練
6 火	
7 水	◆村校長研修会 ◆小中連携授業研究会(津波小)
8 木	◆離乳食実習
9 金	◆おおぎみ展(塩屋小) ~11日
10 土	
11 日	◆親子ふれ合い体験学習(大宜味小)
12 月	振替休日(大宜味小)
13 火	◆秋の遠足(幼稚園) 振替休日(大宜味中)
14 水	◆村教頭研修会 ◆国頭地区童話お話大会(名護市)
15 木	◆幼稚園・小学校・中学校一斉授業参観日
16 金	幼稚園休園日
17 土	◆国頭地区中学校総合文化祭 ◆県民体育大会(~18日) ◆国頭地区中学校音楽発表会 ◆旧村役場庁舎ト一八ギ祝
18 日	
19 月	
20 火	◆津波小交流グランドゴルフ大会
21 水	◆塩屋小ありがとう集会

22 木	◆離乳食実習 ◆小中連携授業研究会(大宜味中)
23 金	◆森に学ぼう in大宜味村 勤労感謝の日
24 土	◆国頭地区 PTA研究大会(伊江村) ◆県民体育大会(~25日) ◆ツールド・おきなわ2012(~25日)
25 日	◆村読書講演会
26 月	◆農業委員会総会
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	◆津波小クリーンアップ作戦
12月	December
1 土	
2 日	
3 月	◆区長会
4 火	◆村生徒指導連絡協議会
5 水	◆県学力到達度調査(小学校) ◆村校長研修会
6 木	◆県学力到達度調査(中学校) (~7日) ◆塩屋小修学旅行(~7日)
7 金	
8 土	◆しまんちゅ芸能の夕べ
9 日	
10 月	◆標準学力検査(~20日)
11 火	◆大宜味中修学旅行(~14日)



村内あれこれ



平成24年度 赤い羽根共同募金運動出発式

平成24年度「赤い羽根共同募金運動」(沖縄県共同募金会大宜味村共同募金委員会)が10月1日から始まりました。5日には、赤い羽根共同募金運動出発式が、役場庁舎前で行われ、村民生委員児童委員らが村内の事業所を訪問し募金を呼びかけました。

運動期間は12月31日までで、目標額は1,122,000円となっています。



村青年会が世界エイサー大会で演舞を披露

10月6、7日の両日、那覇市の県立武道館と沖縄セルラースタジアム那覇の2会場で開かれた「世界エイサー大会2012」に大宜味村青年団協議会が参加しました。世界エイサー大会は、勇壮な演舞を魅せる「伝統エイサー」と華やかで自由な「創作エイサー」の2部門があり、村青年会は7日の伝統エイサー部門でプログラムの先頭として演舞を披露。演舞が始まるとセルラースタジアム内には、村青年会の力強い演舞と囃子(へいし)が響き渡り、会場からも盛大な拍手が贈られました。



田嘉里区で豊年踊り

4年ぶりとなる田嘉里区の豊年踊りが10月20日、同区集落センター広場舞台上で盛大に行われました。

今回は、ベテランの踊り手らに交り、子供エイサーや組踊など多くの演目で地域の子どもたちが出演し、日頃の練習の成果を披露しました。山城区長によると、今回は初めて参加する子どもたちも多く、8月半ばから2ヶ月間練習を積んできたと言います。初めて豊年踊りに参加し「前之浜」を踊った平良尚道くんは「緊張したが練習通りに踊ることができた。自分たちが伝統行事に参加することで、地域の活性化の力になれば嬉しい」と充実感をのぞかせました。

山城区長は「豊年踊りなど地域の伝統行事を通して、清流清らかな田嘉里川のように実り豊かな地域づくりをしていきたい」と話しました。

キラリ おおぎみ



大宜味村和そばの店 「美ゅうびゅう」

(兼城剛さん(上原))

道の駅おおぎみ2階に和そばの店「美ゅうびゅう」が今月オープンする。メニューは、蕎麦の香りが楽しめる「十割蕎麦ざる・もり」と、五割蕎麦(ソバの収穫時期にあわせて12月から販売予定)をオリジナルの出汁でいただく「沖縄かけそば」。いずれも大宜味村産和そばの魅力を十分に味わえる内容となっている。

店主の兼城さんは、飲食業に可能性を感じ26歳で上京。自分の店を持つことを目標に県内、県外の飲食店で働きながら資金づくりと経験を積んできた。5年前に、大宜味村出身でシークワサー栽培を営む父親が一時期体調を崩したことから、飲食業で働きながら父親の農業の手伝いをしていたが、2年前に開かれた大宜味村蕎麦打ち体験教室に参加したことがきっかけとなり「大宜味村産和そば」の店を出すことを決意した。地域を活かしたお店づくりをしたいと常日頃から考えていた兼城さんにとって、地域の畑で栽培される蕎麦の実を、地域で蕎麦にして食べてもらうという村の取組に強く魅力を感じたからだ。

「道の駅から見渡せる素晴らしい風景、食材と地域の魅力を活かしたお店づくりをしていきたい。」と話す兼城さん。将来的には、ネットショップなども活用し広く消費者にPRできる、飲食業と農業が結びついた大宜味らしい店づくりを目標としている。